

4 高等学校 国語科 問題用紙

(11枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

〔注意事項〕

- 1 答えは、すべて解答用紙に記入すること。
- 2 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の二種類がある。
- 3 マーク式問題の答えはマーク式解答用紙に、記述式問題の答えは記述式解答用紙に記入すること。
- 4 マーク式問題の答えは、問題で示された解答番号の欄にある数字をマークすること。例えば、解答番号1と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のようにマーク式解答用紙の解答番号1の解答欄③にマークすること。

(例)

解答番号	解答欄
1	① ② ● ④

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

4 高等学校 国語科 問題用紙

(11枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

Kyosai-guild

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

4 高等学校 国語科 問題用紙

(11枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(小浜 逸郎「日本語は哲学する言語である」による。)

問一

傍線部⑦～⑫に相当する漢字を含むものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号を答えなさい。

⑦は解答番号1、⑧は解答番号2、⑨は解答番号3、⑩は解答番号4の解答欄にそれぞれマークしなさい。

⑦ セツシユ

- ① 自然のセツリに従う。
- ② チセツな作品で恥ずかしい。
- ③ 事態がセツバクしている。
- ④ 防災本部をセツチする。

⑧ コウシツ

- ① 百円コウカを使う。
- ② 人心がコウハイする。
- ③ 予定のヘンコウを求める。
- ④ 夢と現実がコウサクする。

⑨ シイられる

- ① 質実ゴウケン
- ② メイキヨウ止水
- ③ ゴウカ絢爛
- ④ 弱肉キヨウシヨク

⑩ クダいて

- ① サイセイ一致
- ② サイキ煥発
- ③ 粉骨サイシン
- ④ 一病ソクサイ

(11枚のうち4)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答题紙に記入すること。)

問二 ① 機微、 ② 奇を衒ったとありますが、これらの本文中における意味として最も適切なものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ選び、その番号を答えなさい。④は解答番号5、③は解答番号6の解答欄にそれぞれマークしなさい。

① 機微

- ① 人それぞれが抱く感想  
 ② 優しさやいたわりの心  
 ③ 表面からは捉えにくい事情や趣  
 ④ 決して定まることのない感情

② 奇を衒った

- ① 表現の斬新さにこだわりをもっている  
 ② わざと風変わりなことをして人の注意を引こうとした  
 ③ 難解なことに芸術の価値があるとする芸術観に基づいた  
 ④ 分かる人にだけ分かればいいと開き直った

問三 ① いわゆると同じ品詞の語を、次の①～④の中から一つ選び、その番号を答えなさい。解答番号7の解答欄にマークしなさい。

- ① 穏やかだ ② かわいい ③ すこぶる ④ ほんの

問四 ① Xにあてはまる最も適切な語を、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号8の解答欄にマークしなさい。

- ① しかし ② まず ③ なぜなら ④ むしろ

問五 ① Yにあてはまる最も適切な語句を、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号9の解答欄にマークしなさい。

- ① 極論すれば ② 逆も真なりで ③ 付言するならば ④ 例外はあるもので

問六 この文章の構成に関する説明として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号10の解答欄にマークしなさい。

- ① ③段落では、①段落で予告された「理由」を述べ、⑤段落では、③段落の内容を詳しく説明している。  
 ② ⑩段落は、⑧段落と⑨段落でまとめたことの反論を述べて、文章を展開させている。  
 ③ ⑪段落、⑬段落では、論理的であることが言語として優れているという具体例を挙げている。  
 ④ ⑬段落は、⑬段落、⑭段落、⑮段落で述べたことに対して予想される疑問に備えて用意されている。

# 4 高等学校 国語科 問題用紙

(11枚のうち5)

受験番号	
氏名	

(答えは、すべて解答题紙に記入すること。)

問七 次に示す【資料Ⅰ】は[2]段落で例示されている『海潮音』所収の詩の一編、【資料Ⅱ】は『海潮音』の序文、【資料Ⅲ】は『海潮音』について解説した文章、【資料Ⅳ】は【資料Ⅰ】に示す詩について解説した文章です。本文の[2]段落中に「種の創作」とありますが、本文における筆者の主張と【資料Ⅰ】～【資料Ⅳ】の内容を踏まえると、その「種の創作」とは、【資料Ⅰ】の詩のどのような点に表れているといえますか。その点について述べた文として適切ではないものを、あとの①～④の中から一つ選び、その番号を答えなさい。解答番号11の解答欄にマークしなさい。

【資料Ⅰ】

落葉

秋の日の  
 ギオロンの  
 ためいきの  
 身にしてみても  
 ひたぶるに  
 うら悲し。

鐘のおとに  
 胸ふたぎ  
 色かへて  
 涙ぐむ  
 過ぎし日の  
 おもひでや。  
 げにわれは  
 うらぶれて  
 こゝかしこ  
 さだめなく  
 とび散らふ  
 落葉かな。

(上田 敏 「海潮音」による。)

【資料Ⅱ】『海潮音』における訳詩についての上田敏の考えを述べた部分

異邦の詩文の美を移植せむとする者は、既に成語に富みたる自国詩文の技巧の爲め、清新の趣味を犠牲にする事あるべからず。而も彼所謂逐語訳は必らずしも忠実訳にあらず。

(上田 敏 「海潮音」による。)

【資料Ⅲ】

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

【資料Ⅳ】

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- ① 各行をおおむね五音になるように表現することで、伝統的なリズム感を生み出した点。
- ② 「ギオロン」とカタカナの表記を入れることで、当時の日本人に新鮮な印象を与えようとした点。
- ③ 「や」「かな」という詠嘆を表す助詞を用いることにより、和歌のような抒情を表した点。
- ④ はかなさを落葉にたとえることにより、最後の連では日本的な情感を象徴的に表した点。

問八 A この事情とありますが、筆者はどのような事情であると述べていますか。五十字以内で書きなさい。答えは記述式解答题紙に書きなさい。

問九 B 全体として優れていることを意味しませんとありますが、筆者はこのことを説明するために、どのような例を挙げていますか。その例を七十字以内で書きなさい。答えは記述式解答题紙に書きなさい。

(11枚のうち6)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

問十 C そういう態度とありますが、これについて、筆者は古代ギリシア人を例に挙げて、どのような態度であると述べていますか。三十字以内で書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問十一 D 「ことばの厚い壁」とありますが、これはどのようなことであると筆者は述べていますか。百字以内で書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

kyosai-guild

(11枚のうち7)

受験番号	
氏名	

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

□ 次の文章は「落窪物語」の一節です。中納言の娘に落窪の君と呼ばれる姫君(本文中では「君」)がいました。姫君の実母は亡くなり、今は、父である中納言と継母である北の方のいる邸で暮らしています。この姫君には、あこぎという女性が仕えています。ある時、少将は、あこぎの夫であり、自分に仕えている帯刀から、この姫君のことを聞きました。そして、少将は、「姫君に逢えるように手はずを整えてほしい」と帯刀に依頼し、帯刀もそのことをあこぎに伝えました。以下はそれに続く場面です。これを読んで、あとの問一〜八に答えなさい。(問一〜五はマーク式問題、問六〜八は記述式問題です。)

八月朔日ころなるべし。君ひとり臥して寝も寝られぬままに、「母君、我を迎へたまへ。」と「わびし。」と言ひつつ、

我に露あはれをかけたちかへり共にを消えようきはなれなむ

心なぐさめに言ひがひなし。アつとめて、物語してのついでに、「これがかく申すは、いかがしはべらむ。かくてのみは、いかがは、しはてさせたまはむ。」と言ふに、いらへもせず。わづらひてゐたるほどに、「三の君の御手水まゐれ。」とて召さるれば、立ちぬ。心のうちには、「とありともかかりとも、よきことはありなむや。女親のおはせぬに、さいはひなき身と知りて、いかで死なむ。」と思ふ心深し。尼になりても、<sup>註1</sup>殿のうち離るまじければ、ただ「消えうせなむわざもがな。」と <sup>a</sup>思ほす。

帯刀、<sup>註2</sup>大将殿に参りたれば、「いかにぞ。かのことは。」言ひはべりしかば、しかじかなむ申す。まことにいとほるけなり。かやうの筋は、親ある人は、それこそともかくも急げ、おとども北の方にとりこめられて、よもしたまはじ。」と申せば、「さればこそ、いまに入れよとは。婿どらるるも、いとほしたなき心地すべし。らうたうなほおぼえは、ここに迎へてむと。さらずは、あなかまでもやみなむかし。」とのたまへば、<sup>A</sup>そのほどの御定め、よくうけたまはりてなむ、つかうまつるべかなり。」と言へば、少将、「見てこそは、定むべかなれ。そらにはいかでかは。まめやかに、なほたばかれ。よにふとは忘れじ。」とのたまへば、帯刀、『ふと』ぞ、あぢきなき文字なる。」と申せば、<sup>註3</sup>君うち笑ひたまひて、「『長く』と言はむとしつるに、言ひたがへ <sup>b</sup>られぬるぞや。」などうち笑ひたまひて、「これを。」とて、御文 <sup>c</sup>賜へば、しづしづに取りて、あこぎに「御文。」とて引き出でたれば、「あな見苦し。何しにぞとよ。よしなうことは聞えて。」と言へば、「なほ御返りせさせたまへかし。」<sup>B</sup>よにあしきことにはあらじ。』と言へば、取りて参りて、「かの聞えはべりし御文。」とて奉れば、「何しに。<sup>註4</sup>上も聞いたまひては、『よし』とはのたまひてむや。」とのたまひて、「さてあらぬ時は、よくやは聞えたまひてや。」<sup>C</sup>上の御心なつすみきこえたまひぞ。』と言へど、いらへもしたまはず。あこぎ、御文を紙燻して見れば、ただかくのみあり。

君ありと聞くに心をつくばねの見ねと恋しきなけきをぞする

「<sup>d</sup>をかしの御手や。」とひとりこちみたれど、<sup>D</sup>かひなげなる御けしきなれば、おしまきて、御櫛の箱に入れて立ちぬ。帯刀「いかにぞ。御覧じつや。」<sup>d</sup>いで、まだいらへをだにせさせたまはざりつれば、置きて立ちぬ。』と言へば、「いでや、かくておはします。よりはよからむ。我らがためにも思ふやうにて。」と言へば、「いでや、御心の頼もしげに <sup>e</sup>おはせば、などかはさむ。」と言ふ。

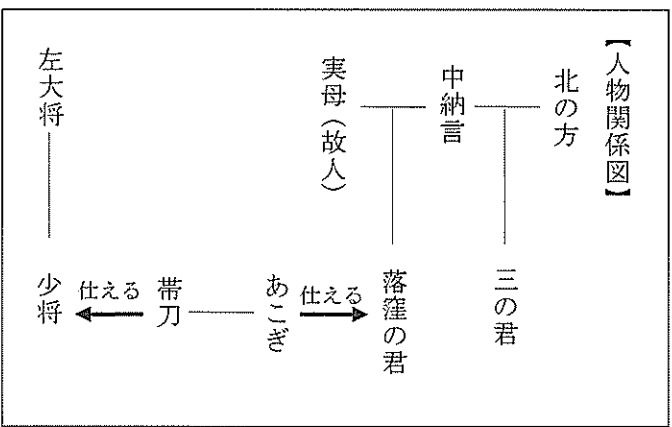
(「落窪物語」による。)

(注1) 殿 Ⅱ 落窪の君の父親である中納言を指す。

(注2) 大将殿 Ⅱ 少将の父、左大将の家。少将は父親の家に住む。

(注3) 君 Ⅱ ここでは少将のこと。

(注4) 上 Ⅱ 北の方。



(11枚のうち8)

受験番号	
氏名	

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

問一 いらへもせずとありますが、この主語として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号12の解答欄にマークしなさい。

- ① 落窪の君      ② あこぎ      ③ 帯刀      ④ 少将

問二 アとめて、イをかしの御手とありますが、これらの本文中における意味として最も適切なものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ選び、その番号を答えなさい。アは解答番号13、イは解答番号14の解答欄にそれぞれマークしなさい。

- アとめて      ① ことさらに      ② さりげなく      ③ 翌朝      ④ 夕方

- イをかしの御手  
① 奇妙な手紙      ② 上手な筆跡      ③ 巧妙な手段      ④ 滑稽な内容

問三 ①思ほす、②賜へ、③おはします、④おはせのうち、補助動詞であるものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号を答えなさい。解答番号15の解答欄にマークしなさい。

- ① a      ② c      ③ d      ④ e

問四 ①られの文法的な意味として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号16の解答欄にマークしなさい。

- ① 受身      ② 自発      ③ 可能      ④ 尊敬

問五 君ありと聞くに心をつくばねの見ねと恋しきなきをぞするとありますが、この和歌に用いられている修辭の組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号17の解答欄にマークしなさい。

- ① 枕詞、縁語、体言止め  
② 掛詞、縁語、体言止め  
③ 掛詞、枕詞、体言止め  
④ 掛詞、枕詞、縁語

問六 A そのほどとありますが、これはどのようなことを指していますか。二十字以内で書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問七 B よにあしきことにはあらじ、C 上の御心なつみきこえたまひその口語訳をそれぞれ書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問八 D かひなげなる御けしきとありますが、これは誰のどのような様子を示していますか。二十五字以内で書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。



(11枚のうち9)

受験番号

氏名

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

〔三〕 次の文章を読んで、あとの問一〜七に答えなさい。(問一〜五はマーク式問題、問六・七は記述式問題です。) なお、設問の關係で返り点・送り仮名を一部省略しています。

走ルニハ 不レレドモ 以レテセ 手ヲ、縛レリテ 手ヲ 走レバ 不レ能レハ 疾キコト。 ① 飛フニハ 不レレドモ 以レテセ 尾ヲ、屈レシテ 尾ヲ 飛ベバ 不レ能レハ 遠キコト。 物之用ヒラルル者ハ、必ズ 待ニツ 不レル 用ヒラレ 者一ヲ。 故ニ 使ニ之見一者、乃チ 不レル 見者也。 使ニ鼓鳴一者、乃チ 不レル 鳴ラ者也。 嘗ニメテ 注一 縷<sup>れん</sup> 肉一ヲ、知ニリ一 注二 鑊<sup>かく</sup> 之味一ヲ、懸ニケテ 羽ト 興レヲ 炭、而知ニル 燥湿 之氣一ヲ。 以レテ 小ヲ 明レラカニスルナリ 大ヲ。 見ニテ 一葉ノ 落一ツルヲ、而知ニル 歳之 将一レニルヲ 暮<sup>くれ</sup>レカント、 暗ニテ 瓶中之 氷一ヲ、而知ニル 天下之 寒一キヲ。 ② 以レテ 近キヲ 論<sup>ろん</sup>スルナリ 遠キヲ。

三人 A 比肩、不レルモ 能ニハ外ニ 出レツル 戸ヲ、一人 相隨ヘバ、 ③ 可以 通天下。

足 蹶<sup>ふ</sup>レメバ 地ヲ 而為レシ 跡ヲ、 暴<sup>まさ</sup>サレテ 行ケバ 而為レス 影ヲ。 此レ 易クシテ 而難シ。

莊王 誅ニスルヤ 注三 里史一ヲ、 注四 孫叔敖 制レシ 冠ヲ 浣<sup>あら</sup>レフ 衣ヲ。 注五 文公 棄ニテ 注六 荏席一ヲ、 後ニスルヤ 注七 黷<sup>じつ</sup> 黒一ナルヲ、 注八 咎犯 B 辞シテ 帰ル。 故ニ 木葉 落チテ 長年 悲シム也。

④ 鑊<sup>かく</sup> 鼎ハ 日ニ 用ヒラルレド 而 不レ 足レラ 貴ブニ。 注十 周鼎ハ 不レレドモ 爨<sup>か</sup>ガ 而 不レ 可レカラ

賤シム。 物 固ニ 有以 不用 而為 有用者。 地平カナレバ 則チ 水 不レ 流レ。 重<sup>おも</sup>サ 鉤<sup>ひ</sup>シケレバ 則チ 衡 不レ 傾カ。 物之 尤<sup>た</sup>グルハ、 ⑤ 必 有所 感。 物 固ニ ⑥ 有以 不用 為 大用者。

(「淮南子」に於て。)

(注1) 一櫛<sup>し</sup> 一切れ。(注2) 鑊<sup>かく</sup> 鍋。(注3) 里史<sup>し</sup> 楚の莊王に仕えた佞臣。(注4) 孫叔敖<sup>そうしゆくあう</sup> 楚の莊王の臣。(注5) 文公<sup>ぶんこう</sup> 晋の君主。(注6) 荏席<sup>じんせき</sup> 筵。(注7) 黷<sup>じつ</sup> 黒く日焼けした者。(注8) 咎犯<sup>かうはん</sup> 文公の舅で、文公を補佐した。(注9) 鑊<sup>かく</sup> 小さな鼎。(注10) 周鼎<sup>しゅうてい</sup> 周王室に伝わる宝で、祭器として使われた鼎。

(11枚のうち10)

受験番号	
氏名	

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

問一 使<sub>二</sub>之見<sub>一</sub>者<sub>一</sub>の読み方として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号18の解答欄にマークしなさい。

- ① これをつかいてみるものは  
 ② これにみせらるるものは  
 ③ これをしてみせしむるものは  
 ④ これをみるものにつかいます

問二 A 比肩の本文中における意味として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号19の解答欄にマークしなさい。

- ① 横に並んでいること  
 ② 仲間になること  
 ③ 切磋琢磨すること  
 ④ 同じ力を持っていること

問三 B 辞の本文中における意味と同じ意味の「辞」を含む熟語として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号20の解答欄にマークしなさい。

- ① 辞令  
 ② 謝辞  
 ③ 固辞  
 ④ 辞去

問四 a 可以通天下、b 必有所感とありますが、それぞれ次のように訓読する場合、どのように返り点を施せばよいですか。最も適切なものを、次の各群の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。aは解答番号21、bは解答番号22の解答欄にそれぞれマークしなさい。

- a 可以通天下を「もつてんかにつうざべし」と訓読する場合  
 ① 可<sub>下</sub>以通<sub>中</sub>天下<sub>上</sub>      ② 可<sub>三</sub>以通<sub>二</sub>天下<sub>一</sub>      ③ 可<sub>レ</sub>以通<sub>二</sub>天下<sub>一</sub>      ④ 可<sub>二</sub>以通<sub>レ</sub>天下
- b 必有所感を「かならずかんずるところあり」と訓読する場合  
 ① 必<sub>レ</sub>有<sub>レ</sub>所<sub>レ</sub>感      ② 必<sub>レ</sub>有<sub>レ</sub>所<sub>レ</sub>感      ③ 必<sub>有</sub>所<sub>レ</sub>感      ④ 必<sub>有</sub>二所<sub>レ</sub>感

問五 c 有以不用為大用者の書き下し文として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号23の解答欄にマークしなさい。

- ① 不用を以つて大用と為すもの有り  
 ② 以つて不用を大用と為すもの有り  
 ③ 不用を為すもの大用と為すもの有り  
 ④ 以つて不用有りと大用とを為す

問六 a 飛<sub>フ</sub>ニハ 不<sub>レ</sub>ドモ 以<sub>レ</sub>テセ 尾<sub>ヲ</sub>、屈<sub>レ</sub>シテ 尾<sub>ヲ</sub> 飛<sub>ベ</sub>バ 不<sub>レ</sub>能<sub>レ</sub>ハ 遠<sub>キ</sub>コト の口語訳を書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問七 ① 以<sub>レ</sub>テ 近<sub>キ</sub>ヲ 論<sub>ズ</sub>ルナリ 遠<sub>キ</sub>ヲ とありますが、これはどのようなことを述べていますか。見<sub>ニ</sub>テ 一葉<sub>ハ</sub>落<sub>ツ</sub>クニ 而<sub>シ</sub>て 知<sub>ニ</sub>テ 歳<sub>ニ</sub>之<sub>レ</sub>將<sub>ニ</sub>ルヲ 暮<sub>レ</sub>シテ 而<sub>シ</sub>て 之<sub>レ</sub>を例に挙げて書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

(11枚のうち11)

受験番号	
氏名	

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

四 平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領 国語 各科目 現代の国語 内容の取扱い に示されていることについて、次の問一・二に答えなさい。

問一 次の文章中の  X にあてはまる適切な数値を、あとの①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号24の解答欄にマークしなさい。

(1) 内容の「思考力、判断力、表現力等」における授業時数については、次の事項に配慮するものとする。

ア 「A話すこと・聞くこと」に関する指導については、20～30単位時間程度を配当するものとし、計画的に指導すること。

イ 「B書くこと」に関する指導については、 X 単位時間程度を配当するものとし、計画的に指導すること。

ウ 「C読むこと」に関する指導については、10～20単位時間程度を配当するものとし、計画的に指導すること。

① 10～20      ② 20～30      ③ 30～40      ④ 40～50

問二 次の文章中の  Y にあてはまる適切な語句を、あとの①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号25の解答欄にマークしなさい。

(4) 教材については、次の事項に留意するものとする。

ア 内容の「思考力、判断力、表現力等」の「C読むこと」の教材は、現代の社会生活に必要とされる論理的な文章及び  Y とすること。

① 道徳的な文章      ② 文学的な文章      ③ 古典的な文章      ④ 実用的な文章

五 平成二十一年三月告示の高等学校学習指導要領 国語 各科目 国語総合 内容 B 書くこと (1) イ には、「論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。」と示されています。この指導事項を踏まえた授業において、自分の考えを書く言語活動を通して、論理の構成や展開を工夫して書くことに関する指導を行うこととします。これについて、次の問一・二に答えなさい。

問一 「論理の構成や展開を工夫する」ことは、高等学校学習指導要領(平成二十一年告示)解説国語編において、何のために欠くことができないと示されていますか。書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問二 生徒に、自らの思考の進め方を整理させ、文章を論理的に組み立てさせるために、あなたならどのような指導をしますか。その指導において、生徒がどのようなことを考え、どのような活動をするのかを具体的に示して書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

④ 高等学校 国語科 マーク式解答用紙

氏 名

受験番号					
①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②
③	③	③	③	③	③
④	④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨

〔記入上の注意〕

- 1 余白には何も記入しないでください。
- 2 HBまたはBの鉛筆で該当する ○ にマークしてください。  
 マーク例 <良い例> ●  
 <悪い例> ○<sup>○</sup> ○<sup>○</sup> ○<sup>○</sup>
- 3 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
- 4 受験番号については、6桁の数字を記入したうえで、該当する ○ にマークしてください。

一	解答番号	解 答 欄
	1	① ② ③ ④
	2	① ② ③ ④
	3	① ② ③ ④
	4	① ② ③ ④
	5	① ② ③ ④
	6	① ② ③ ④
	7	① ② ③ ④
	8	① ② ③ ④
	9	① ② ③ ④
	10	① ② ③ ④
	11	① ② ③ ④

三	解答番号	解 答 欄
	18	① ② ③ ④
	19	① ② ③ ④
	20	① ② ③ ④
	21	① ② ③ ④
	22	① ② ③ ④
	23	① ② ③ ④

四	解答番号	解 答 欄
	24	① ② ③ ④
	25	① ② ③ ④

二	解答番号	解 答 欄
	12	① ② ③ ④
	13	① ② ③ ④
	14	① ② ③ ④
	15	① ② ③ ④
	16	① ② ③ ④
	17	① ② ③ ④





4

高等学校 国語科 記述式解答用紙

(3枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号			問一〜五は、マーク式解答用紙に記入すること。	解答欄	
問八	問七 C B	問六			

問題番号			問一〜五は、マーク式解答用紙に記入すること。	解答欄	
問七	問六				

四は、マーク式解答用紙に記入すること。

4

高等学校 国語科 記述式解答用紙

(3枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄
問一	問二	

kyosai-guild

高等学校国語科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答	〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点	
日	問一	㉞	1		各 2 × 4
		㉟	1		
		㊱	4		
		㊲	3		
	問二	㉠	3		各 3 × 2
		㉡	2		
	問三	4			3
	問四	1			3
	問五	2			5
	問六	4			6
	問七	2			8
問八	日本では、欧米文化をそのままではなく、独特の消化吸収と変奏を成し遂げて受け入れたという事情。(46字)		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10	
問九	論理性に優れた言語が、人間どうしの心の動きや、自然と人間の関わり方について、十分表現できずに取りこぼしてしまう危険性があるという例。(66字)		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10	
問十	自分たちの文化を優れたものであると誇り、他を蔑視する態度。(29字)		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	
問十一	ある文化共同体のもとで使用される高度な文学的磨きのかかった言葉は、日常の共有による絶え間ない日常語の駆使によって支えられており、異なる文化共同体の言語を使用する人には容易に理解し難いものであること。(99字)		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	12	

79



高等学校国語科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
二	問一 1		2	
	問二	ア 3		各 3 × 2
		イ 2		
	問三 4		3	
	問四 2		3	
	問五 4		3	
	問六 姫君と結婚するかどうかということ。(17字)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	
	問七	B 決して悪いことではないだろう	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 6 × 2
C 北の方にお気遣い申し上げますな				
問八 姫君の、少将からの手紙に取り合おうとしない様子。(24字)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8		
三	問一 3		2	
	問二 1		3	
	問三 4		3	
	問四	㉑ 2		各 4 × 2
		㉒ 3		
	問五 1		4	
	問六 飛ぶのに尾を使いほしくないが、尾を折り曲げれば遠くまで飛ぶことはできない	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6	
問七 葉が一枚落ちたことで年がまもなく暮れようとするのを察するよ うに、身近なわずかな前兆から遠い将来の大きな変化を察知する ということ。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8		
四	問一 3		3	
	問二 4		3	

4 5

3 4

6

高等学校国語科採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点						
問一	説得力のある文章を書き、自らの考えを相手に納得させ、同意や共感を得るため。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10						
五 問二	<p>生徒が自分の考えを書くために構成や展開を考える前段階として、ある生徒が論理の構成や展開を工夫する過程を、その生徒になったつもりで体験させることを通して、どのように思考を整理しながら、文章を論理的に組み立てていくかということを考えさせる指導を行う。</p> <p>具体的には、公共交通機関における優先席の必要性について自分の考えを書こうとしているある生徒が、次に示すA～Fのような収集した情報や体験、考えなどを内容のまとめりごとに整理したものを、指導者が黒板やワークシートに提示して、論理の構成や展開を生徒に考えさせる。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>A ヘルプマークやマタニティマークをもつ人の声。 →優先席に座って移動できるため、体への負担を減らすことができる。</td> </tr> <tr> <td>B バスや電車の会社の取組。 →席を必要とする方が安全に安心して乗車できるよう、優先席の位置やデザインなどを工夫している。</td> </tr> <tr> <td>C 優先席とは何か。</td> </tr> <tr> <td>D 現時点では、優先席は必要である。 →周囲に配慮できるように。</td> </tr> <tr> <td>E 優先席は必要なのだろうか。</td> </tr> <tr> <td>F 通学中に見たこと。(優先席に荷物、誰も座っていない優先席) →立っている人が多くなって、車両が混雑する。</td> </tr> </table> <p>まず、指導者からの「A～Fの内容をどのような順序で述べればよいでしょうか。」という発問に対して、生徒はA～Fの内容を並べ替える過程で、なぜそのような文章の組立てや進め方で説明するのが良いかを考えることになる。次に、指導者からの「多くの人からの理解を得られる内容となっていますか。」という発問に対して、生徒は加筆すべき内容やその理由、その内容を述べる順序などを考えることになる。</p> <p>これらを交流することを通して、説得力がある文章になっているかどうかや、自らの考えを相手に納得させ、同意や共感を得ることができるかどうかをポイントとしながら、自分の思考の進め方を整理し、文章を論理的に組み立てる必要があることに気付くことが期待できる。</p> <p>この後、生徒に構成をメモするためのワークシートを配付し、自分が書こうとする内容について、論理の構成や展開を工夫させる。</p>	A ヘルプマークやマタニティマークをもつ人の声。 →優先席に座って移動できるため、体への負担を減らすことができる。	B バスや電車の会社の取組。 →席を必要とする方が安全に安心して乗車できるよう、優先席の位置やデザインなどを工夫している。	C 優先席とは何か。	D 現時点では、優先席は必要である。 →周囲に配慮できるように。	E 優先席は必要なのだろうか。	F 通学中に見たこと。(優先席に荷物、誰も座っていない優先席) →立っている人が多くなって、車両が混雑する。	<p>問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。</p>	26
A ヘルプマークやマタニティマークをもつ人の声。 →優先席に座って移動できるため、体への負担を減らすことができる。									
B バスや電車の会社の取組。 →席を必要とする方が安全に安心して乗車できるよう、優先席の位置やデザインなどを工夫している。									
C 優先席とは何か。									
D 現時点では、優先席は必要である。 →周囲に配慮できるように。									
E 優先席は必要なのだろうか。									
F 通学中に見たこと。(優先席に荷物、誰も座っていない優先席) →立っている人が多くなって、車両が混雑する。									
			36						